| 科目ナンバリング | U-LAS02 10007 LJ36 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<英訳> | 国語国文学Ⅰ<br>Japanese Philology and Literature I | | 担当者所属職名・氏名 | 非常勤講師 垣見　修司 | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 芸術・文学・言語(基礎) | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2026・前期 | 曜時限 | 金5 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

現存最古の和歌集である『万葉集』は、都とその周辺で詠まれた歌だけでなく、旅で歌われた和歌を数多く載せ、地域的に多彩な内容を持つ。日本の広範囲にわたる地名が詠み込まれ、気候や地理の違いによって生じるさまざまな土地の風土が反映された歌は日本文学の基層を成すだけでなく、それぞれの郷土の歴史においてもしばしばルーツとしてかえりみられるものであり、地域のアイデンティティをかたちづくるものともなっている。万葉の歌を、風土を切り口として鑑賞することで、『万葉集』をより身近なものとして関心を持ち，把握することをめざす。

講義にあたっては，『万葉集』の本文を読み下す作業を行い，奈良時代以前の日本語表記に慣れることをめざす。

**[到達目標]**

万葉集についての基礎的な知識を習得し、古代の歌を理解するための考え方や古代学的な視点を身につける。

**[授業計画と内容]**

第１回　万葉集の概要（導入）
第２回　歌を読むこと
第３回　万葉の風土概説
第４回　大和（全域を概観する）
第５回　山背（南山城を中心に）
第６回　近江（近江の海と蒲生野）
第７回　紀州（紀ノ川と和歌の浦）
第８回　摂河泉（難波と住吉）
第９回　東海（東海道、富士）
第10回　瀬戸内（遣新羅使歌）
第11回　東国（東歌と防人歌）
第12回　筑紫（大宰府と九州の海）
第13回　越中（国守大伴家持の五年間）
第14回　山陰（石見と因幡）
第15回　フィードバック

講義では、はじめに前回の質問への回答も行う。
進捗状況に応じて内容を変更することがある。

**[履修要件]**

特になし

国語国文学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

**国語国文学Ⅰ(2)**

**[成績評価の方法・観点]**

**平常点（コメント・授業への積極的な参加度）（40%）**
**期末レポート（60%）**

**[教科書]**

**井手至、毛利正守 『新校注　萬葉集』（和泉書院）**ISBN:978-4757604902
**坂本信幸、毛利正守 『萬葉事始』（和泉書院）**

**[参考書等]**

**（参考書）**
**小島憲之他 『新編日本古典文学全集　萬葉集』（小学館）**ISBN:978-4096580066
**犬養孝 『万葉の旅－上・中・下－改訂新版』（平凡社）**ISBN:4582764835,4582764894,4582764940
**坂本信幸,村田右富実,牧野貞之 『日本全国万葉の旅－大和編，西日本・東日本編－』（小学館）**
ISBN:9784093883931,9784093883948

**[授業外学修（予習・復習）等]**

**講義内容の復習。取り扱う各地域の風土や地理、文化について、広く関心を持ち、実際訪問や、関連する資料の調査によって知見を深めること。**
**期末レポートに向けた準備。**

**[その他（オフィスアワー等）]**

**[主要授業科目（学部・学科名）]**